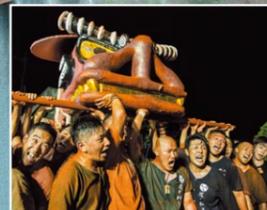


ぶざまなものは  
見せられない



大胡町青年会会長

古澤正

(樋越町)

江戸時代末期、疫病払いのため  
に始まったといわれる暴れ獅子。  
毎年7月下旬に大胡地区の祇園ま  
つりで行われる暴れ獅子は、獅子  
を激しく上下に動かし、尻尾から  
発生する風で邪気を払う、荒々し  
く勇壮な行事です。今年、現場を  
仕切ったのは古澤正さん。  
「体力的にはかなりきついです  
けど、歴代の先輩たちの厳しい目  
もあり、ぶざまなものを見せるわ  
けにはいきません。毎回気合いと  
誇りを持って臨んでいます」  
伝統の祭りは、地域の若者たち  
の誇りによって連綿と受け継がれ  
ています。



地元の皆さんとレシピを試作

おいしく  
できた  
がねえ!

赤城南麓を  
食で元気に

地域おこし協力隊

伊藤 武

(茂木町)



年を取っても  
続けたい

約400年前から伝承さ  
れてきた大前田諏訪神社の  
獅子舞。伝統を受け継ぐ芽  
は着実に育っています。

大前田の獅子舞「獅子っ子」



茂木直太郎

(大前田町)

中澤 怜

(大前田町)

神道臣

(大前田町)

今年7月、さいたま市から移住  
してきた伊藤武さん。以前は都内  
で調理人として働いていました。  
「協力隊に応募したのは、調理  
人という自分の技術と地域の素材  
を生かして、地元の皆さんと一緒  
に地域を元気にしていきたいと  
思ったから」。地元産のニジマス  
などを使ったレシピを考案中で、  
新たな「南麓の味」の誕生が今か  
ら楽しみです。  
地元と共に活性化に取り組み  
協力隊。彼らが果たす役割につい  
て、前橋地域づくり連絡会委員長  
の鈴木正知さんはこう語ります。  
「地域の課題を自分たちだけで  
解決するのは難しいです。そこで  
大事なのが横のつながりです。ほ  
かの団体や地域と解決方法を出し  
合って互いを補完し合う、この循  
環がいろいろな  
場面に広がれば、  
前橋の魅力はよ  
り磨かれます」  
個性豊かな「南麓人」。彼らの  
取り組みは地域の個性となり、地  
域の魅力となっていきます。



鈴木 正知さん

いいね!